

相産だより

誠実 創造 努力



相生産高創立80周年記念講演

相生産高創立80周年記念式典の後、株式会社モンベル代表取締役会長兼CEO 辰野勇氏による記念講演が行われました。演題は「夢と冒険 アウトドア 7つのミッション」です。講話を聴いて、生徒たちは心に希望がみなぎり、将来の展望が開きつつあるようです。以下に生徒の感想を抜粋します。

記念講話を聴いて

～生徒感想～

- 一番印象に残ったことは、勉強できる人は、「集中力」「持続力」「判断力」にプラスして、「決断力」があるということです。講師の先生は生きるか死ぬかの二者択一しかない中で、山に登るという気持ちがとてもいいと思いました。また、少年時代からの夢であった山登りに関わる仕事に就き、本当にすごいなと思いました。私も何か一つのことに、一所懸命になれるような大人になりたいです。また話を聴くうちに、自分の将来についてヒントをいただきました。色々な人に支えられながら、たくさんの人との深い関わりを大切に、過ごしていきたいと思いました。
- 「決断力」はとても難しく思います。リスクなどを考えてしまうからです。でもその部分も克服できるように頑張りたいと思います。今後、私たちは社会に出ていきます。講師の方のように、自分の好きな事を仕事にできる姿に、とても尊敬の気持ちを持ちました。私も自分が好きな事、興味関心があるものの仕事に就ければいいと思いました。
- このような盛大な式典を開くことができるのは、たくさんの方たちの支えあってこそだと思いました。これから10年後も20年後も続けられるように頑張りたいです。辰野先生の人生経験、そしてそこから何を考え、どうしていったのかという話を聴かせていただき、とても有意義な時間でした。自分の意識の方向性を定め、自分の将来を創造していきたいです。これから相産高に入る生徒には伝統を学び、同時に自分たちも、次の世代へつなげていくという意識を持つようにしたいです。自分のあり方、生きていく上での方針を、じっくりと見つめなおしていきたいです。
- 辰野先生は、少年時代にハインリッヒ・ハラーのアイガー北壁登攀記「白い蜘蛛」に感銘を受け、高校1年生の時、まず貯金箱を作り、そこから夢がかなったことを教えてもらい、何事も小さなことの積み重ねが必要だと学びました。また人生において、挑戦することは大切であり、あきらめずに続けることの大切さがわかりました。
- 一番印象に残ったことは、「していることを好きになろう」です。自分が選んだ道だから、最後までやり続けること、やるなら前向きに楽しくやり、好きになろうと思いました。退屈だと思いながらやるより、楽しくやった方が成長でき、自分の経験になると思いました。

